【第22回公開シンポジウム開催案内・参加募集】

日本工学会 技術倫理協議会 第22回公開シンポジウム

「科学技術へのAI導入と技術倫理教育のあり方」

日　時：2026年 12月10日（木）13:00～17：00

形　式：オンライン（Zoomウェビナー）

開催趣旨：

古代ギリシアにおいて、技術（テクネー）は単なる手段ではなく、知識、熟練、判断を結び付け、人間と共同体の善い生に資する営みと捉えられていた。技術を担う者には、目的の妥当性を問い、行為と結果に責任を負う姿勢が求められた。近代科学と産業革命以降、技術は専門化、分業化、大規模化し、豊かさをもたらす一方、事故、環境破壊、戦争利用など、社会全体に及ぶ影響を生じさせた。このため技術倫理は、個人の徳や誠実さに加え、組織の責任、安全確保、持続可能性、公正、社会への説明と対話を含むものへと拡張してきた。

今日、AIは予測、生成、意思決定支援へと役割を広げる一方、判断基準の不透明さ、データの偏り、プライバシー侵害、責任主体の不明確さなど新たな課題を生んでいる。技術にAIを導入しても、公益確保、人間の尊厳の確保、誠実さ、公正さ、社会への説明責任は変えてはならない。

本シンポジウムでは、この技術倫理の原則と変遷をふり返るとともに、教育機関、組織における教育、人材育成の課題を共有することにより、現代社会に求められる実践的な倫理教育のあり方を考究する。

主　催：公益社団法人日本工学会 技術倫理協議会

【協議会会員】公正研究推進協会、電気学会、電子情報通信学会、土木学会、日本化学会、
日本機械学会、日本技術士会、日本原子力学会、日本建築学会、日本工学教育協会、
日本非破壊検査協会、日本マリンエンジニアリング学会

定　員：オンライン（500名）

参加費：無料

参加申込方法：Web申込のみとなります。

日本工学会 Web ページ（(https://www.jfes.or.jp/)トップ頁の開催案内バナーから参加申込をお願いいたします。 お申込み後、記載頂いたメールアドレスに参加用 URL を記載した「受付通知メール」を返信します。

当日の講演資料：

各講師の資料が整った時点で日本工学会Webページ（https://www.jfes.or.jp/）の上記開催案内バナーに掲載しますので、参加者各位は、ご自分でダウンロードして下さい。

受講証明書について：
CPDに関連して、必要な方には受講証明書を送付しますので、シンポジウム終了後、下記（eng@jfes.or.jp）までメールでお申込み下さい。

問合せ先：（公社）日本工学会事務局　E-mail：eng@jfes.or.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
（リモートワーク実施中につき、お問合せはメールでお願いします。）

日本工学会 技術倫理協議会 第 22 回公開シンポジウム

日　時：2026年　12月　10日（木）13:00～17：00

形　式：オンライン（Zoomウェビナー）

プログラム：

「科学技術へのAI導入と技術倫理教育のあり方」

総合司会：竹居 信幸 氏（技術倫理協議会 幹事/
東邦地水株式会社）

時間	演　題	登　壇　者	
13:00-13:10	開会挨拶	中野 智仁 氏	技術倫理協議会 議長 株式会社　東芝
13:10-13:50	【講演 1】 「技術者・科学者に求められる倫理的責任、能力とは何か？～技術者倫理教育を手掛かりに～」	小林 幸人 氏	国立高専機構
13:55-14:35	【講演 2】 「生成 AI 時代の大学教育：高等教育機関における生成 AI 導入の実態と学びの再設計」	田中 一孝 氏	桜美林大学
14:35-14:50	休　憩		
14:50-16:50	【話題提供】	菅原 俊樹 氏	株式会社　日立製作所
	【話題提供】	石川 孝重 氏	技術倫理協議会 前議長 日本女子大学
	【話題提供】	金光 秀和 氏	技術倫理協議会 副議長 法政大学
	パネルディスカッション パネリスト：小林 幸人 氏、田中 一孝 氏、菅原 俊樹 氏 石川 孝重 前議長、金光 秀和 副議長 コーディネーター：藤木 篤 副議長		
16:50-17:00	閉会挨拶	中野 智仁 氏	技術倫理協議会 議長 株式会社　東芝

■プログラムの内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。